

第2次神栖市総合計画(案)へのパブリックコメント及び対応方針
 主な意見と市の考え方

1. 意見募集期間

平成30年4月1日(日)～4月30日(月)

2. 意見提出者数及び意見等件数

提出者数 3名

意見等件数 14件

3. 意見の内容と市の考え方(意見の内容については、要約して掲載しています。)

No.	意見の内容	市の考え方
1	神栖市の未来の在り方を見据える上で大切なビジョンとは、「無から有へ」・「有を生に」ではないでしょうか。平成17年の合併以来既定路線を踏襲するばかりの行政では人口の減少に歯止めをかける事はできないでしょう。総合計画は神栖市が市民に表明する指針です。神栖市の近未来とは、道路アクセスの変化に伴い新たな可能性を浮き彫りにする事ができます。単に水戸方面への高速道路が全線開通するというものではなく、沿線には新たな施設や機能が生まれるでしょう。或いは沿線に点在していた観光拠点が線で結ばれ、新たな観光ルートが誕生する事になります。見捨てられてきた潮来や鹿嶋にも県外から短期滞在者が訪れ、宿泊施設が再整備されるかも知れません。	貴重なご意見として、総合計画の実施に当たり、参考とさせていただきます。
2	私のビジョンは、やがては神栖市を含む鹿行五市が一つの自治体となり神栖市がリーダー的な役割を果たし「スポーツ産業都市」を目指すべきであると考えます。南茨城市(仮称)となって、折角存在する資源である水辺(外浪逆浦)及びその周辺を最大限生かす事ができるM(マリン)S(スポーツ)N(ナショナル)C(センター)施設構想を提唱したいのです。この開発事業とは壮大なものとなり、世界中から水上スポーツの関係者が集い、各競技の世界大会が行われたり競技者や指導者を育成する施設として莫大な経済波及効果を生み出します。一定年齢に達したアスリートはリタイヤした後も、この施設において第二の人生を歩む事ができ、日本全国を	重点プロジェクトの「産業力強化プロジェクト」及び「イメージアップ・定住促進プロジェクト」、分野別計画第7節「新しい産業活力にあふれたまちづくり」の実施に当たり参考とさせていただきます。

No.	意見の内容	市の考え方
	<p>はじめ世界中から定住する人が増え、雇用の創出により人口は減少するどころか増加する事になるのです。また外浪逆浦とMSNCのコラボによる新たな観光拠点となり、視察や見学に訪れる人は絶える事がないでしょう。茨城県最南端に位置する新たな玄関口として神栖市側と対岸の潮来市側を一体的に開発整備し、スポーツ産業都市を産業誘致と捉えスポーツイノベーションという観点からすべきではないかと思うのです。未知の世界の話に聞こえるかも知れませんが、旧態依然とした行政だけでは日本の未来はありません。この開発事業がもたらす経済効果への影響や山積する政治課題の中で優先順位に誤りがないか等、費用対効果から経済的妥当性(必要性)を十分に検証する事が重要です。</p>	
3	<p>やがては南茨城市(仮称)となり人口 30 万人の都市を実現し、神栖市が中心的な役割を果たすのです。この大型開発は、有るものを生かす「有から生に」という発想から始める事になります。既に存在する資源の更なる質の向上により、新しい視点で完成度を高めます。有るものをブラッシュアップするという視点を、この開発プロジェクトは共有するのです。ただの水辺であった外浪逆浦及びその周辺を「磨き上げる」という視点によって、より良い資源に変貌させるのです。日本の社会は、ほぼ成熟した経済状況にあるものの 1 千百兆円を超える借金を抱えており、全ての事つまりあれもこれもが実現できる訳がありません。あれとこれであれば実現可能であるという正しい視点と手順が不可欠であり、私の提唱する壮大な事業も恒久的な成功へ導けるという確証がなければ、市民からの同意は得られません。世界の潮流を読み解き、多くの国々から賛同を得られるという大前提が必須であるのは言うまでもありません。人口減少は鹿行五市が共通に抱える問題です。とりわけ潮来市や行方市は消滅する可能性がある指摘されています。しかし、この「スポーツ産業都市」の実現によって若い移住者が増え、雇用の充実によって更に人口が増大する都市に変貌するはずで。また、この開発事業に伴い、東関東自動車道潮来インターから臨海コンビナートへの有料道路を延伸し、MSNCスマートインターチェンジを設置する事により、渋滞対策に備えます。更に将来的には、この施設が国際的な施設である事から外国からの訪問者が多い事などを考慮して新たな公共交通シ</p>	<p>分野別計画第8節「健全な行財政のまちづくり」のうち「広域行政」において、広域的な施策連携を強化するに当たり、参考とさせていただきます。</p>

No.	意見の内容	市の考え方
	<p>ステムについても検討される事になります。地域の鉄道やバス会社などと協議し、様々な可能性を模索します。最後に、私のビジョンはやがて鹿行五市は一つになるべきであるというのが持論です。その意味が何であるのかは明快です。世界の誇れる施設を神栖市だけで創造するのは容易ではありません。暗い未来を共有する五市は一丸となって人口減少に立ち向かわなければならないのです。今年の冬もいよいよ春に突入しますがつい先日まで全国に大雪をもたらしました。しかし年間を通して温暖な神栖市では雪に苦しめられる事はありませんでした。こんな恵まれた土地であるからこそ、水上スポーツの競技施設や訓練施設に相応しいと思うのです。総合計画という短いスパンで語る事ではありませんが、人口減少問題を別な視点で観てみると、こんな発想があっても良いのではないのでしょうか。</p>	
4	<p>P. 46 放射線の測定は、公共施設で定期的に測定し周知となっていますが、現在は市役所で常時測定、ホームページ等にも周知されていないのではないですか。</p>	<p>現状を勘案し、今後の方針として「市役所本庁舎敷地内で定期的に測定を実施し、放射線量の把握と周知に努めます。」と修正いたします。</p>
5	<p>P. 110 新エネルギーの促進で、太陽光発電・風力発電を利用した、水素エネルギーについての記述があっても良いのではないのでしょうか。</p>	<p>重点プロジェクト1「産業力強化プロジェクト」及び分野別計画第7節「新しい産業活力にあふれたまちづくり」のうち「工業」の欄に記載しております。</p>
6	<p>表紙 計画愛称のタイトル中の「共創」の意味が分かりにくい。</p>	<p>市民の視点に立ち、市民とともにまちづくりを推進するという理念から、「共創」としております。</p>
7	<p>P. 18 将来像の書体と「！！」については、再度検討した方がよい。</p>	<p>書体及び「！！」については、計画書の最終デザインで決定する際に再検討します。</p>
8	<p>P. 19 まちづくりの理念2のうち「公平公正」は、別の言葉の方がよい。</p>	<p>まちづくりの理念については、分かりやすい表現となるよう検討いたします。</p>
9	<p>P. 28 「スポーツツーリズム」は、用語解説が必要だと思います。</p>	<p>他の用語を含め、解説が必要と思われるものは用語解説を記載いたします。</p>
10	<p>P. 29 子育て日本一プロジェクトの「日本一」は、競争を連想するのであまり使わないほうがいい。</p>	<p>子育て支援に力を入れていくことを強調すること、総合戦略の重点プロジェクトの名称であることから、記載のとおりといたします。</p>

11	P. 45 防災の中、防災センターの積極的な活用を織り込んでほしい。	防災センターについては、災害発生時の拠点となるほか、防災教育や防災会議をはじめとする防災に関する活動などに積極的に活用しております。
12	P. 79 海外旅行が自由に行ける時代に、姉妹都市交流事業の推進は必要ですか。	交流事業は、個人の旅行とは異なり、国際交流の推進や国際化への対応を目的としていますので記載のとおりといたします。
13	P. 113 自然環境の保全の中、「砂浜への車両乗り入れの規制」を入れてほしい。	総合計画には詳細な事業は記載しないため、各施策を事業として展開する際の参考とさせていただきます。
14	総合計画の概要版などは、「見せる」工夫をしてください。また、「関心を持たせる」方法を考えてください。	イラストを活用するなど、概要版等の作成の際の参考とさせていただきます。